

## 議員と話す出前トーク報告書

開催日時	令和7年5月12日(月) 午前9時00分 ~ 午前10時40分
相手方	生ごみリサイクル 亀さんの家
開催場所	松名瀬公民館
出席議員	広報広聴委員 東村 佳子 ① 赤塚 かおり ② 中村 誠 ③ 西口 真理 ④ 山本 芳敬 ⑤ _____ ⑥ _____
	司会進行者 山本 芳敬
	報告者 東村 佳子
	記録者 東村 佳子
参加人数	10名
意見・要望等 主な質疑応答	別紙のとおり。
報告者の所感	別紙のとおり。

松阪市議会議長 中島 清晴 様

令和 7 年 5 月 2 4 日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

報告者 東村佳子 \_\_\_\_\_

## 意見交換

【テーマ:高齢化とコミュニティ、農業コミュニティの大切さ、松阪市と第一次産業、環境保護と地域】

亀さんの家の概要説明、自己紹介のち、普段思っていることを自由に話す

\*資料:亀さんの家のあゆみ冊子、総会議案書

### 1. 「亀さんの家」の概要

「亀さんの家」は、地域のお年寄りが元気で楽しく生活していくために平成 9 年に民間宅老所「亀さんの家」として誕生し、平成 15 年には地域の皆さんで生ごみの堆肥化、平成 17 年には野菜栽培も始められた。

さらに、平成 21 年からは、江戸で一世を風靡した松阪木綿の原料である綿花の栽培も始められている。今では、堆肥化、野菜づくり、綿花の栽培など活動の輪が広がりコミュニティが生まれ、他の地域からも活動に賛同する若い方々も楽しく参加されている。

亀井さんの活動は、国においても認められ食育・地産地消大賞、あしたのまち、くらしづくり活動賞、振興奨励賞、循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰受賞などを受賞され、生ごみリサイクルの活動は、食育、地産地消、循環型社会の観点から小学校へも出向かれ出前講座をされているとのことであった。

### 2. 亀井さんの思い・要望

松名瀬が元気だと西黒部が元気になり、ひいては松阪市全体の元気につながる

#### ◎松名瀬の原風景としての綿畑

- ・地元産の綿を増やし、松阪木綿の品質向上につながるよう綿花生産者や栽培に関わるグループを増やす支援を望む
- 請願書などの提出により多くの共通認識に広げる、農福連携、就労支援などの働きかけ
- ・下機殿・上機殿があるこの場所に綿の一連の作業を見る、作業をする施設ができる事により地域の誇りを繋げて欲しい
- 小学校統廃合による学校跡地活用に提案していきたい

#### ◎亀さんの家の原点、生ごみ堆肥づくり

- ・生ごみ堆肥作り、野菜作りはお年寄りが元気に楽しく暮らす姿から若い人がここに住もうと思えるきっかけとなるだけでなく、ごみの削減、ごみの焼却にかかる経費の削減にもつながるので、環境配慮の面からも市としてもっと積極的に取り組んで欲しい

→周知拡大の働きかけ、他市町事例のさらなる学習など常任委員会に提案する

### 3.「亀さんの家」からいただいた質問

#### 【既に回答済みの質問】

- ①問:道路の補修の工事の段取りに無駄が多い気がするが予算配分は  
答:全体予算の中で配分が決まっているが、毎年要望書をあげることで取り組みにつながる
- ②問:鴨による稲の苗や小麦の穂の食べ尽くす被害の減収補填は  
答:農業共済収入保険が対応
- ③問:昨今の少子化から人の住んでない家が急増するが空き家対策は  
答:空き家対策課に相談
- ④問:耕作放棄地にできる太陽光パネルのその後の管理は? 20年後が心配  
答:情報収集に努めその後の対応等、常任委員会に提案する
- ⑤問:水道が外資にわたらないようにしっかり公共で守って欲しい  
答:議会としても注視していく

#### 【回答できなかった質問への回答】

- ⑥問:南海トラフ被害想定が改定されたが松阪市の対応対策は  
答:国の想定見直しを受けて、県が今年度中に三重県被害想定の見直しを行うことから、市としましては三重県の見直し後の想定結果に基づき必要な措置を講じてまいります。
- ⑦問:貝採りが禁止になったままだがその後の対策は  
答:アサリの資源回復に向け、松阪漁協と連携しながら、覆砂などの取り組みを行っている。漁業者の生活にも影響を与えることから禁漁としておりますので、ご理解をお願いしたい。
- ⑧問:圃場整備から年月が経ち、古くなった給水バルブや給水マスの補修補填はないのか  
答:農業施設等については、農家の負担軽減を図ることを目的とし、様々な補助

を行っている。国・県の補助を受けられる事業や市単独で補助を行っているものもある。各種、要件があるため詳しくは農村整備課へ相談をお願いします。

**⑨問:**耕作放棄地を誰かが元の田畑として使ってもらえる補助金があるとよいが

**答:**耕作されていない農地については、少しでも担い手の方に借り受けていただけよう取り組んでいる。各種融資制度や補助制度などを活用いただけるよう認定農業者の増加を目指して働きかけを行っている。

#### 4. 所 感

「亀さんの家」が長年取り組んでみえる生ごみ堆肥リサイクル、綿花の栽培、有機野菜づくり等にかける熱い思い、また、課題について何う有意義な時間となった。

地元のお年寄りの居場所づくり、生きがいづくりから始まり、それをごみの削減、循環型社会の推進へとつなげていきたいとの思い、また、地元産の綿花栽培から糸作り、反物作りへと、松阪産の松阪木綿を作りたい、そのための拠点を作りたいとの夢に向かって活動されていることなど、皆さんの地域の方々や松阪市を大切に思う気持ちに大いに感銘を受け、今後、行政として出来る事は何か、議員としてもしっかりと調査、研究をしていきたい。

皆様から色々なご意見、ご提案をいただき、議会としても、みんなが元気に暮らせるまちづくりに繋げていきたいと思う。

### 議員と話す出前トークの様子

